

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	81	132	百日咳	0	0
RSウイルス感染症	3	1	ヘルパンギーナ	76	45
咽頭結膜熱	29	22	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	10	14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	98	103	急性出血性結膜炎	0	0
感染性胃腸炎	318	404	流行性角結膜炎(はやり目)	13	13
水痘	102	136	細菌性髄膜炎	0	0
手足口病	184	130	無菌性髄膜炎	0	0
伝染性紅斑(りんご病)	1	1	マイコプラズマ肺炎	3	1
突発性発しん	57	60	クラミジア肺炎	0	1

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- 手足口病
- 水痘

- 感染性胃腸炎は、報告数318件(前週報告数404件)と減少。地区別では、菊池、山鹿、有明に多く報告がみられます。年齢別では、1歳の55件を最多に幅広い年齢層からの報告です。
- 手足口病は、報告数184件(前週報告数130件)と増加。地区別では、菊池、熊本、宇城に多く報告がみられます。年齢別では、1歳の75件を最多に主に5歳以下からの報告です。
- 水痘は、報告数102件(前週報告数136件)と減少。地区別では、菊池、宇城、人吉に多く報告がみられます。年齢別では2歳の27件を最多に主に6歳以下からの報告です。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所	27	1	4	33	71	34	94		13		24			13				
山鹿保健所					21	2	5		1				*	*				
菊池保健所	11	2	9	27	79	20	45		15		16	3						
阿蘇保健所				2	5								*	*				
御船保健所					11	3							*	*				
八代保健所	16		1	5	21	10	1		8		9							
水俣保健所			1	1	12		6		2		2		*	*				
人吉保健所	4				24	9	3	1	2		3		*	*				
有明保健所	12		7	3	45	4	11		4		6	4						
宇城保健所	7		6	17	19	16	16		6		3	1	*	*				
天草保健所	4		1	10	10	4	3		6		13	2						3
計	81	3	29	98	318	102	184	1	57	0	76	10	0	13	0	0	3	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上
インフルエンザ	81			4	1	2	3	4	3	7	5	4	22	13	2	3	3	3	1	1	
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上						
RSウイルス感染症	3		2	1																	
咽頭結膜熱	29		9	7	3	7	1			1	1										
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	98			1	6	8	13	15	20	10	5	10	4	1	5						
感染性胃腸炎	318	4	39	55	29	35	27	17	17	17	10	10	32	5	21						
水痘	102	1	10	20	27	11	17	10	5		1										
手足口病	184	3	29	75	31	24	8	9		3					2						
伝染性紅斑	1		1																		
突発性発しん	57		34	21	2																
百日咳	0																				
ヘルパンギーナ	76		13	31	10	4	4	7	1	1	1	1	3								
流行性耳下腺炎	10			2	1		4	1		1		1									
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0																				
流行性角結膜炎	13								1					1	1	2	4	2			2
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0																				
無菌性髄膜炎	0																				
マイコプラズマ肺炎	3			3																	
クラミジア肺炎	0																				

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

- 水痘 : 菊池
- 感染性胃腸炎 : 菊池
- 手足口病 : 菊池、熊本

【手足口病、ヘルパンギーナに注意しましょう】

手足口病、ヘルパンギーナに注意しましょう!

5月以降、手足口病とヘルパンギーナの報告数が増加傾向にあります。手足口病、ヘルパンギーナともに、5歳までの子ども、特に2歳以下の乳幼児を中心に流行する急性ウイルス性感染症です。年間を通して、感染する可能性があります。7月が流行のピークとなることから、これから増加する可能性があります。

-手足口病-

潜伏期間: 3~5日
症状: 手や足や口の中にかゆみや痛みを伴わない水疱性発疹

-ヘルパンギーナ-

潜伏期間: 2~5日
症状: 発熱(38度以上、時には39度~40度近い高熱を発症するケースも)、口腔内の口内炎や水泡(複数)、咽頭炎

<感染予防のポイント>

両疾患とも便や咳、くしゃみから感染しますので、排便処理後、食事前、調理前の手洗いやうがいなどが有効です。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供: 熊本県健康福祉部 健康危機管理課